

## 卒業に寄せて 校長 村上 英治

1977年(昭和52年)にヒットした「思秋期」という岩崎宏美の歌は名曲である。

もちろん君たちの世代は歌も歌手も知らないだろう。まさに私の青春時代の歌である。しかし、「古すぎる」と言って嫌わずに一度 YouTube で探して聴いてみてほしい。もの思う秋に、こわれやすかった甘く切ない青春時代をしみじみと思い出すという歌である。

「思秋期」という言葉は造語で辞書にはない。「思春期」というのはまさに、中学、高校時代の時期、青春時代を指すが、さて、「思秋期」というのはいつを指すのだろう。過ぎて行った青春をそう遠くない時期に振り返る季節、あるいはもう少し人生を生きて、振り返る時間の方が多くなった時期を言うのかもしれない。

歌詞の中に「誰も彼も通り過ぎて 二度とここへ来ない」というフレーズがある。「ここ」とは青春を指している。

時間は不可逆である。青春という時期を通り過ぎたすべての人々は、二度と再び青春という地に戻ってはこない。人はそのことを知っているはずなのに、なぜか気づかずに青春の日々を過ごしてゆく。

ひょっとしたら青春とは一番時間(とき)を意識しない季節(とき)なのかもしれない。

君たちもいつの日かもの思う秋になって、しみじみと翔洋で過ごした青春時代を懐かしむ日が来るであろう。思い出は恐らくセピア色に彩られているはずだが、人生で一番眩しく輝いていた日でもあったはずだ。



## 「15歳の君へ」 中等部3学年主任 赤池 克佳

静岡翔洋高等学校中等部3年生153名の皆さん、並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

iPad 導入初年度の学年でした。はじめて iPad を手にした時の皆さんのワクワク感と中学校生活への期待感とが相まって、笑顔あふれる入学となりました。シズクリプロジェクト「CREATE」という TanQ が始まりました。IAI のミニロボ作成、会社の方の前でのプレゼンなど多くのことを経験しました。

修学旅行は、広島宮島へ上陸した初めての学年となりました。しかし、インフルエンザの大流行によって、多くの生徒が欠席、行程の途中で、体調不良により帰宅を余儀なくされる生徒もあり、辛い思い出になってしまった人もいたことでしょう。でも、その後の皆さんの姿を見て安心しました。誰一人、不平不満を言うことなく、行けなかった仲間にも気をかけてくれました。

この3年間「仁」をテーマにやってきました。「相手のことを思いやること。相手の存在を認めること」それが「仁」でした。相手のことを考え、どのような行動がふさわしいのか、学校生活のあらゆる場面で、皆さんの「仁」の思い、行動を見ることができました。

体育祭、合唱コンクール、建学祭といった行事でも、リーダーはいなかったけれど、全員で一つのことに向かっていく姿を見ることができました。

これからは多様性と個性の時代。君たち一人一人が精いっぱい生きているそれ自体が個性です。そして、その個性が認められるのが多様性だと思います。自分を大切に、他者も大切に生活していきましょう。



## 「誰かのために」 高校3学年主任 小曾根 龍介

491名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんはこれから、それぞれのステージへと踏み出すこととなります。静岡翔洋高校での3年間で学んだことを胸に、新たな道を切り開いてほしいと願っています。

保護者の皆様には、生徒たちの活動の度に、多くの励ましの声や温かなサポートを頂きました。皆様のご協力のおかげで、今日、この素晴らしい門出の日を迎えることができました。学年教員一同、厚く御礼申し上げます。

3年前、この場所に集った仲間たちと出会い、生徒たちのたった1度の高校生活はスタートしました。学年団は2021年の入学にあやかり、「TEAM 21」と銘打ち、「成長」と「連携」をテーマに学びを進めてきました。今でこそ、コロナ前の日常に戻ってきてはいますが、入学当初はまだ多くの制限がかかる中で学校生活はスタートしました。「今までの当たり前が通用しない」という状況においても、生徒たちは柔軟に、そして粘り強く対応してくれました。

私たち学年教員は、生徒たちと3年間を共に過ごす中で確信したことがあります。それは、この学年の生徒たちは、「誰かのために行動できる」という何物にも代え難い素晴らしいチカラを持っているということです。建学祭では、生徒会やクラスのメンバーが大変な時、必ずその気持ちを察して協力してくれました。体育祭では、下級生にも声をかけ、学年の垣根を超えた一体感を作り出してくれました。また、多くの生徒が自発的なボランティア活動にも参加してくれました。

そして最大のハイライトは何といても野球応援です。必死に頑張っている仲間のために、炎天下でも一生懸命に声を出し、応援しました。喜びを共有し、やりきった全員笑顔の中には、確かに達成感と満足感がありました。生徒たちの解放されたチカラは、学年のみならず、学校全体の心をつなぐ一石、想像できないほどの大きなうねりを生み出しました。静岡翔洋高校がこれから先、目指していく一つの方向性が見えたようにも感じました。

皆さんがこれから踏み出していく現代社会は、他者に寛容でありながらも混沌としており、相手の立場を考えない「分断」や「偏見」はむしろ増長しているようにも思います。皆さんがこの3年間で培った経験と自分らしさをいかに発揮して、「暗闇を照らす光」のような存在として、それぞれのステージで活躍することを切に願っています。

皆さん自身の、そして皆さんの大切な人の人生が、幸せに満ちた豊かなものであることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。ご卒業おめでとうございます。



# 春 まとめ



## 能登半島地震の被災地支援の募金活動を行いました

高校生徒会長 若神子凜さんの申し出から、能登半島地震の被災地支援の募金活動を行いました。高校生徒会総務、中等部生徒会、有志生徒が協力を申し出て、総勢 70 名で校内及び街頭で募金を呼びかけました。学校ではお年玉やお小遣いから募金をしてくれた生徒が多くいました。駅前では、多くの地域の方が足を止め、温かい言葉で労ってくれました。3日間で義援金 656,738 円が集まり、日本赤十字社の静岡県支部に寄託しました。被災地で暮らす方々が、1日でも早く安全で平穏な生活に戻れるように心から願います。募金へのご協力ありがとうございました。



## 中等部 男女とも中体連最優秀校に

昨年度に引き続き、男女ともに令和5年度静岡県中学校総合体育大会総合成績優秀校に選ばれました。授与式では、代表者が中体連の思い出や文武両道を実践しながら仲間たちと切磋琢磨してきたことに触れるスピーチをしました。



## 中・高 ベストクラス決定！

今年度の『ベストクラス』が決定しました。授業担当者が「挨拶・礼儀・身だしなみ・授業に取り組む姿勢」を評価して順位が決まります。ベストクラスに選ばれたクラス生徒全員に学食でのランチがプレゼントされ、みんなでお腹いっぱいいただきました。

- 中1部門：1-C
- 中2部門：2-B
- 中3部門：3-B
- 高1ベーシック部門：1-6
- 高2ベーシック部門：2-12
- 高3ベーシック部門：3-12
- アクセル部門：2-2



## 高1 シヅクリ準グランプリ

「シヅクリ project エンジン 2023 静岡カップセカンドステージ」が行われ、本校の高校1学年より2チームが出場しました。結果は、チーム「カタヤマンズ」(1年3組)が準グランプリを獲得し、全国大会「クエストカップ」出場を決めました。地域探究部門「エンジン」とは、地域の中高生と企業がともに、今ある地域の可能性を発見し、地域をより良くするためのイノベーションプランを企画、発表するものです。「カタヤマンズ」は静岡新聞社さんに「SBSの広告を使い、学生起業家を応援する」という企画を提案し、見事全国大会の切符を手に入れました。全国大会では、他校とは一線を画す大人っぽいプレゼンで、会場を唸らせたのですが、残念ながら優勝はなりませんでした。クラウドファンディングでご支援いただいた皆様には感謝申し上げます。

「カタヤマンズ」メンバー：相澤佳介、伊東翼、片山楓都、菅野快英、清水琢夢  
企画：SIS(Student Investment Support)プロジェクト



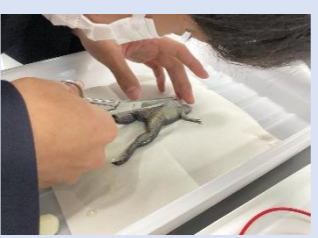
## 社 「しみずみなと体験ツアー」

フィールドワーク 港町清水の魅力について理解を深めるためにフィールドワークを行いました。冷凍マグロを保管する-60℃の冷凍庫に入らせて頂いた後は、清水魚市場に移動し、魚のセリの仕組みについて学びました。その後、「河岸の市」を散策しました。また三保サーモンを使った「三保バーガー」を頂きました。



## 理 カエルの解剖実験

はじめは不安な様子でしたが、いざ解剖を進めていくと、人間をはじめとする他の生き物との共通点が多いことに気がついたようでした。今回の授業を通して、生命の尊さについて改めて学ぶことができました。



## 中等部 百人一首大会

1月から国語の授業中にクラス予選が行われ、各クラス代表の4名が集まり、決勝を行いました。学年ごとに対戦を行い、取った枚数が多かった人が優勝となります。3年生は、上の句で札を取る人も多くいました。今年の優勝者は、森澤茉莉さん(3年)、堀内ななさん(2年)、諸田莉星さん(1年)でした。



## 博物館見学

昨年度から行っている中等部土曜授業選択講座では『ふじのくに地球環境史ミュージアム』に見学に行きました。中3生は理科の授業で世界のプレート15枚を学習していたので、より深い学びとなりました。



## ロータリーエリアに駐車場 誕生！



昨年秋より着工した本学正門ロータリー横の新しい駐車場がオープンしました。登下校時の送迎車用に使われます。自転車や歩行者に十分注意してご利用ください。

## 高3 テーブルマナー講座



日本平ホテルにてテーブルマナー講座を行いました。説明を聞きながら、美味しい食事をいただき、素敵な時間を過ごすことができました。卒業後のフォーマルな形式で会食する機会に役立てほしいです。

## 美×書 コラボ授業

美術選択×書道選択のコラボレーション授業です。テーマを決めて美術の生徒が水墨画を、書道の生徒が文字を担当し、2人で1つの作品を作りました。力作が沢山！文字と絵のテイストを合わせるという高度なテクニックを使う生徒もいました。



## 中2 「ライフサイクルゲーム」

第一生命保険株式会社様とのコラボ企画を実施しました。すごろくを使い、結婚・住宅購入などの今後の人生で起こりうるライフイベントをゲーム形式で疑似体験しました。ヤングバージョン(定年退職まで)とシニアバージョン(定年退職後)を体験し、生涯設計について考える貴重な時間となりました。

